

# 検査方法の概略

## 凝固時間法

測定対象となる因子の欠乏血漿とトロンボプラスチン、アクチン、塩化カルシウムを加え、凝固するまでの時間を測定する方法。

## 酵素法

測定原理は比色法と同様で、測定物質を酵素を用いて特異的に測定する方法。

## 電極法

電極と溶液界面における電荷移行反応を利用した方法。  
イオン選択電極は特定のイオンに应答し、イオンの活量の対数に比例して生じる電位差からイオンの濃度を測定する。

## 発色性合成基質法

ヘパリンを加えてAT-Ⅲ-ヘパリン複合体を形成させ、そのトロンビン不活化能をトロンビンに対する発色性合成基質を用いて測定する方法。

## CLEIA(Chemiluminescent enzyme immunoassay)

### 化学発光酵素免疫測定法

固相化した抗体に対して抗原を反応させた後、酵素標識した抗体を抗原に2次反応させ、化学発光基質を加えて発光強度を測定する方法。

## ECLIA(Electro chemiluminescence immunoassay)

### 電気化学発光免疫測定法

抗体を結合したビーズを用いて抗原と反応させた後、ルテニウムピリジン錯体で標識した抗体を抗原に2次反応させ、電気化学反応によりルテニウムピリジン錯体の発光強度を測定する方法。

## LA(Latex agglutination immunoassay)

### ラテックス凝集比濁法

抗原または抗体を吸着(結合)させたラテックス粒子を用いて抗原抗体反応を行い、抗原抗体反応による凝集の濁度を、光を照射させて透過率または光の散乱強度から測定する方法。

## TIA(Turbidimetric immunoassay)

### 免疫比濁法

抗原抗体反応による混濁物に光を照射させ、透過率を測定する方法。